

■大島鎌吉 選手としてオリンピック銅メダリスト、東京大会を成功に導き、近代スポーツのあり方に警鐘を鳴らし続けた。

おおしまけんきち

アヲヲ 創刊・1908＝

近代オリンピックの基礎固めがされたロンドン大会開催の年、石川県金沢市白銀町で大きな履物店を営む大島吉太郎・乃布の長男に生まれ、さらなる商売の発展を願って、鎌の字が使われた。

明治天皇没・1912＝4歳：この年、オリンピック・ストックホルム大会に日本初参加(以降、大会のオリンピックの語は略す)。

21ヶ条要求・1915＝7歳：金沢市立瓢箪町小学校に入学。_校庭を活発に走り回り、スキーや海水浴などなんでも挑戦する性格で、

ロシア革命・1917＝9歳：

原敬首相暗殺1921＝13歳：

関東大震災・1923＝15歳：_金沢商業学校に入学、陸上競技部で、顧問で理論家の斎藤守二と出会う、才能が開花、

護憲三派圧勝1924＝16歳：_第四高校主催の中等学校陸上競技大会で、上級生の代役で出て三段跳で優勝して、専念するようになり、

治安維持法・1925＝17歳：_クーベルタンがIOC会長を退任し、全日本陸上競技連盟設立の年、_北陸中等学校陸上競技大会で優勝。

日本時代始・1926＝18歳：_東西対抗陸上競技大会で、早大生の織田幹雄に次ぐ記録を出して、全国に名が知られ、

金融恐慌・・・1927＝19歳：_金沢で大火が発生した際、真っ先に母校に駆け付け消火に当たるも、全焼。*上海での極東選手権大会で、

共産党事件・1928＝20歳：_冬季サンモリッツ大会に日本初参加。_優れた指導者岸源左衛門のいた関西大学予科に入学。オリンピック

海軍軍縮条約1930＝22歳：_在学中、密かに、2歳下の千田二三子と結婚。_国際学生競技大会(ダルムシュタット)で、初の欧州遠征。

満州事変・・・1931＝23歳：_関西学生陸上選手権三段跳で、年間記録世界2位となる15メートル43をマーク、優勝候補として、

五一五事件・1932＝24歳：_ロサンゼルス大会に出場。選手村の風呂の爆発で重傷を負うも、三段跳で銅メダルを獲得(南部忠平が金)。

帝人疑獄事件1934＝26歳：_卒業して、毎日新聞社入社後、日米対抗陸上競技近畿大会の三段跳で世界新記録(15メートル82)を出し、

芥川直木賞始1935＝27歳：_長男章和誕生。_朝日賞を受賞。陸上界さける理論派になり、ドイツ語と英語に堪能で、ロシア語もできたため、

二二六事件・1936＝28歳：_*旗手兼主将を務めたベルリン大会終了後、選手を引退し、IOC総会で1940年オリンピック東京開催が決定すると、

日中戦争始・1937＝29歳：_フルシャフIOC総会で、1940年冬季の札幌開催も決定までもするもの、

健保+総動員 1938＝30歳：_政府閣議で東京大会、札幌大会いずれも返上が決定されてしまう。

第二次大戦始1939＝31歳：_学生たちの出場を訴えて認められた国際学生競技大会兼ドイツ招待大会の団長兼監督になるも、現地で帰

大政翼賛会・1940＝32歳：_ヘルシンキ大会も中止。長女三智子誕生するもかまわず、_以後、終戦まで、一度も帰国することなく、戦

年金+総武装 1944＝36歳：_ロンドン大会も中止。

敗戦・・・1945＝37歳：_果敢にも、ナチス・ドイツの終焉取材した唯一の日本人記者となり、連合軍に収容されるも解放されて、

新憲法公布・1946＝38歳：_運動部に転属になると、大日本体育会を訪ねて、スポーツ懇談会発足させた平沼三三会長と意見交換。

新憲法施行・1947＝39歳：_第一回国民体育大会の実現後、JOC設立に向けて、幹事に任命され、「スポーツ平綱領」起草に着手。

極東裁判決・1948＝40歳：_第2回国体が故郷の金沢市を中心に開催され、全国レクリエーション大会第1回石川大会開催にも尽力。

朝鮮戦争始・1950＝42歳：_ドイツでケルンに体育大学を創設して学長になっていたディームと頻りに書簡で意見を交わし始める。

独立回復・・・1951＝43歳：_会社が球団毎日オリオンズ経営を始めたことに反対し、IOC副会長ブランデーへ書簡を送って、1ヵ月間の

メデー事件・1952＝44歳：_ヘルシンキ大会に日本の参加が決まるや、単身渡欧、まずローマ法王ピオ2世に謁見に成功して、またまた

TV放送始・・・1953＝45歳：_(ユニバシアード大会の前身)国際学生スポーツ週間(ドルトムント)参加学生の戦後初の国際大会派遣を実現

55年体制始・1955＝47歳：_自ら競技監督として引率。FISU(国際大学スポーツ連盟)総会では、機転の利いた言動で、日本の学生競技

国連加盟・・・1956＝48歳：_パリのIOC総会で、日本がオリンピックの東京招致立候補するも、失敗するなか、スポーツ界の最高権威にな

インスタトマン・1958＝50歳：_この前後10年間ほど、_オリンピックを中心に、スポーツに関する著作や翻訳を次々に行って啓蒙に努め、

美智子妃・・・1959＝51歳：_*アジア大会(東京)の成功で、招致運動を本格化しようとしたところ、体協で、日本オリンピック後援会の

横領事件が発覚、協会幹部らが辞任する事態に、{オリンピック・メダリスト・クラブ}を設立して、イメージを一新、

体制を立て直した体協で、JOCを主導した田畑政治の推薦で、JOC委員に選出されると、東欧諸国訪問して

地ならしをした上で、ミュンヘンIOC総会に出席、平沢和重の名プレゼンテーションもあって、東京開催決定に導く。

東京オリンピック 1964＝56歳：_オリンピック東京大会組織委員会が設立されて、総務委員に就任。

大学紛争始・1965＝57歳：_*東京オリンピック選手強化対策本部副本部長になると、「選手強化5ヵ年計画」を策定し、スポーツ科学研究

委員会を発足させ、機関誌「OLYMPIA」を創刊。ローマ大会を視察。日本スポーツ少年団の実現をめざすも、

タイタイ病始・1961＝53歳：_政府制定の「スポーツ振興法」を、「屋敷の立法」「インスタンティック」と批判するなどして、抵抗され、

全国総合計画1962＝54歳：_ディームが死去。_ようやく、日本スポーツ少年団が発足。

TV宇宙中継始1963＝55歳：_前年に辞任を余儀なくされた田畑の後任として、本部長に昇格。日本スポーツ少年団創設メンバーと{哲

理作成委員会}発足。東京国際スポーツ大会(プレオリンピック)を開催。強化白書「選手強化四年のあゆみと、

あと一年の対策」を公表し、「日本の金メダル獲得目標数は、米・ソに続いて最低15個」と宣言。

東京オリンピック 1964＝56歳：_*参議院特別委員会の参考人として、1964年を「日本のスポーツ元年」とすることを要請し、日本スポーツ少

年団の「理念」と「哲理」を発表する。東京オリンピック日本選手団団長に選出され、東京大会は大成功、日本

は16個の金メダルで世界3位とまさに宣言通りで、時代の寵児になったのも束の間、

毎日新聞を退職し、開校を支援した大阪体育大学の副学長兼教授に就任。_オリンピック精神にも基づいて、

スポーツと平和のために邁進すべく、まず、「みんなのスポーツ」の推進に向けて{体力づくり国民会議}

を発足させるも、省庁縦割りの壁にぶつかり、奇人・変人扱いされて、以後、孤独な闘いになって行く。

トルショック・・・1971＝63歳：

日中国交回復1972＝64歳：_組織委員になっていた冬季オリンピック札幌大会。ミュンヘン大会に日本ユースキャンプ団長として参加

石油ショック1973＝65歳：_パレスチナゲリラ五輪村襲撃事件があったが、後年、ブランデーIOC会長の英断を評価、

角栄金脈辞任1974＝66歳：_フランクフルトでの国際体力づくり専門家会議に出席するなど、_国際的な活動は続けるが、

国際スポーツ記者連盟功労賞。_ウィーンIOC総会でオリンピック憲章のアマチュア条項削除が決定されるなど、

世界でも、自らの考え方が通じなくなっていく。

ケランブル事件1975＝67歳：_トリム・フィットネス国際会議(ワシントン)に出席。後継者とみなしていた伊東春雄の草案を受け、

JALハイジャック・1977＝69歳：_トリム・フィットネス国際会議(パリ)で、「世界に向けて、「センチュリープラン」を発表する。

革新大敗北・1979＝71歳：_IOC脱退から21年ぶりの中国復帰が決定、中国のスポーツ事情を視察。ソ連のアフガニスタン侵攻で、

アメリカのモスクワ大会ボイコットに従うことを懸念し、「大島アピール」をIOCなどに送付するも叶わず。

貿易摩擦始・1980＝72歳：_ソ連から特別に招待されて、モスクワ大会視察。来日中のノーベル平和賞ノエル＝ペーカーと対談。

・・・1981＝73歳：_妻二三子死去。_バーデン・バーデンIOC総会にゲスト出席し、名古屋市のオリンピック招致活動を批判。

中曽根内閣・1982＝74歳：_同志と、本格的に反核・反戦活動をし、

デイズ・1983＝75歳：_自ら企画・運営の{フォーラムOPT21大阪}で、「P」の平和を軸に、「O」に対応する国際シンポジウム「オリ

ンピックと世界平和」と「T」に対応する「タートル・マラソンの集い」を開催するほどであったが、

・・・1984＝76歳：_東側諸国不参加となったロサンゼルス大会の年、東京の日赤病院に入院、退院するも、

ジャコフ機墜落1985＝77歳：_思い出の地ロサンゼルスからドイツに向かおうとして倒れ、帰国。入院し、没した。

岡邦行「大島鎌吉の 東京オリンピック」